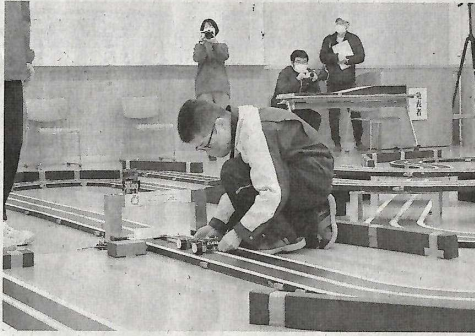


中止の全国大会と同じ難コース

全選手完走 今後に励み

マイコンカーラー 飯田で代替記録会



中止になった全国大会と同じコースに挑む高校生

再拡大の影響で急ぎよ中止に
新型コロナウイルス感染症
になった「ジャパンマイコンカ
ラー全国大会」(8,9日)

広島県)の代替企画の県内記録会が8,9の両日、飯田市の飯田OIDE長姫高校であった。全国大会と同じコースが設けられ、出場を予定していた県内3校の5選手が参加。独自製作したマイコンボード搭載マシンで難コースに挑み完走できたことを喜び、今後の活動の励みにした。

選手らは、昨年10月末の北信越大会で出場権を獲得。全国大会に向けてマシンやプログラミングの調整を続け、年末年始を返上して打ち込んだ生徒も。だが、5日に中止が決定した。県内記録会は、落胆する生徒らに活動成果を發揮する場を設けようと、出場校3校の教員らが企画した。全国の今回のコースは、過去最長とされる77分。二つの坂やギリシア文字「Ω」に似たオメガカーブ、クランクなどが待ち受ける難コース。各校が所有するコースを持ち寄ることで、再現できた。

走りタイムを計測する方式で行い、チャンスは2回。選手らは1走目は最短タイムを狙って果敢に挑戦。やむなくコースアウトした生徒も2走目で盛り返し、全員が完走した。「大会中止に」大きな失望感を覚えただけに、活動成果を發揮できる場を設けてもらえたことに感謝したい」と駒ヶ根工業高校2年の中島駿さん(16)。「完走できて満足。来年の全国大会につなげたい」と前を向いた。(寺田英祥) 記録会の結果は次の通り。

- 【関係分】
- 【Advanced(上級クラス)】①宮嶋一希(飯田OIDE長姫) 17秒88 ②木下春琉(同) 18秒02 ③安藤幹人(駒ヶ根工業) 18秒13 ④中島駿 18秒21(同)



ご購入ありがとうございます

1月10日(月)

発行所 長野日報社
〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)
©長野日報社 2022

マイコンカーラリー中止 飯田OIDE長姫に同一コース

出場予定3高校記録会

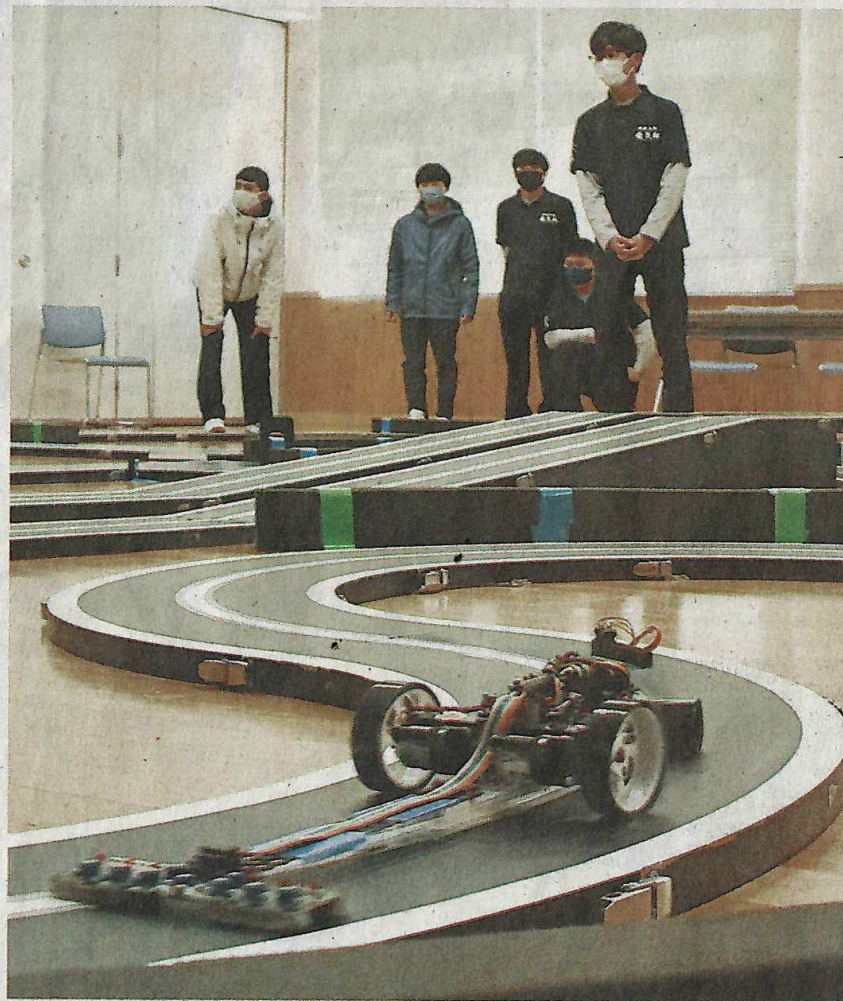
高校生が手作りのロボットカーでレースする「ジャパンマイコンカーラリー」の全国大会が新型コロナウイルス感染拡大で中止となり、出場予定だった県内の三校は九日、飯田OIDE長姫高校(飯田市)で大会と同一コースでの記録会を開いた。

大会は広島市で八、九両日に予定されていたが、感染の急拡大により、開会三日前に急きょ二年連続の中止が決定。十月の北信越大会で好成績を残して出場予定だった県内五選手が所属する飯田OIDE

駒ヶ根工、岡谷工も競う

OIDE長姫高、駒ヶ根工業高、岡谷工業高の電気部などの顧問が、目標を失った部員たちのために競う場を設けようと企画した。

高校生たちは七七・六四分と長く、急カーブや起伏が連続する難コースに挑戦。一走目で三人がコースアウトしたが、マシンを再調整して二走目は全員が完走した。最速タイムを出した飯田OIDE長姫高一年の宮島一希さん(こむは)「大会がなくなった失望感が和らいだ。いいタイムを出せてよかった」と喜びを語った。(長崎光希)



全国大会と同じコースで自作したマシンの性能を競う高校生たち＝飯田市鼎名古屋熊の飯田OIDE長姫高で